

昭和32年度定期種畜検査の概況

本年度定期種畜検査は、例年より10余日遅れて5月6日から5月24日に至る間、県下3班に分れて県下25カ所で、夫々本省関係係官として、中国種畜牧場から、松崎、生駒、布広、技官出張のもとに実施され、その概況は次のとおりである。

一. 受検種畜は、和牛206頭、乳牛19頭、馬8頭、山羊17頭、豚1頭、合計251頭で昨年より減数している。この外和牛の生産育成地帯で15ヵ月未満のものに対して衛生検査を行い、なお人工授精施設等の調査が実施された検査成績は第1表のとおりである。

二. 受検種畜の栄養手入の面では、県南部並びに英田郡の一部を除いて昨年よりはるかによく台帳の記載や受胎成績も昨年より相当向上していた。

三. 供用種畜は各家畜共、昨年と略同数であったが、和牛種雄牛は昨年に比し30頭の減少をみた。これは主として交通の便利な地帯における程雄牛の集中管理が推進されていることがうかがえる。特に個人有の自然種付供用牛が急速に減少している状態である。

各郡市別の状況をみると第2表のとおりである。

第1表 定期種畜検査成績表

家畜の種類	申請頭数	検査頭					合否 保留頭数	供用種雄畜		
		総数	合格頭			総数		人工	自然	
			総数	1級	2級					3級
乳牛	19	19	19	3	16	—	—	19	19	—
和牛	206	206	206	15	170	21	—	175	83	92
馬	8	8	8	—	8	—	—	8	—	8
山羊	17	17	17	1	15	1	—	—	—	—
豚	1	1	1	—	1	—	—	—	—	—
計	251	251	251	19	210	22	—	—	—	—

第2表 種別雄牛現況表

種別	区分	岡山	倉敷	津山	玉島	笠岡	西大寺	井原	総社	高梁	新見	御津	赤磐	和气	都窪	浅口	小田	後月	吉備	上房	川上	阿哲	真庭	苫田	勝田	英田	久米	児島	邑久	計		
乳牛	総数	2	(2) 9		2	2										2							(2) 2								(4) 19	
	所有者別	国有		(1) 3																				(2) 2								(3) 5
		県有			5		1	1																								7
		農協						1																								1
		その他	2	(1) 1			1										2															(1) 6
人工授精所数	1		1		1	1	1	1	1		1	1	1		2	2				3	1		4	2	1	2	3	2	2	34	県営 26 団体 4 個人 4	
和牛	総数		4	13	1	1		4	3	3	14	7	3	1	1	2	6	2	6	3	5	12	24	16	13	13	18				175	
	所有者別	県有			5	1	1		2	1	3	6	3	2	1		2	3	2	2	3	5	8	10	9	7	5	10				91
		郡畜										6												3	10			1				20
		村有																							1							1
		私有		4	8				2	2		2	4	1		1		3		4			1	3	7	6	7	8				63
人工授精所数		2	5		1		2	4	4	6	1	1	1		2	3	1	1	5	4	7	8	5	5	4	6	1	2		81	県営 29 団体 23 個人 19	